530

230

105

116

3, 363

合計

社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備) 事後評価書 令和 2 年 3 月 30 日 計画の名称 51. 高速道路IC及びアクセス道路設置による地域活性化支援 計画の期間 平成25年度 ~ 平成29年度 交付対象 熊本県、宇城市、氷川町、御船町、山都町、人吉市、水俣市 計画の目標 ○九州中央部において、西側の九州縦貫自動車道と東側の東九州自動車道を結ぶ九州中央自動車道の高速交通ネットワークの整備に合わせ、県内各生活圏から高速道路ICへのアクセス道路を整備することで基盤ネット ワークの形成を図り、救急指定病院までの搬送時間短縮による緊急医療改善効果早期発現を図れる。 ○さらには、相互に連携するアクセス道路の整備により、高速道路の利便性向上や行動範囲のさらなる拡大により、地場産業・経済の成長基盤の強化を目指し、物流や広域交通の活性化を図る。 計画の成果目標 (定量的指標) ○高速道路へのアクセスが 1 0 km圏内となる地域(面積: km2)を12%(H29)拡大。 ○ICアクセス道路整備により、救急指定病院までの時間短縮効果(ICへのアクセス時間短縮率)を35.1%(H29)短縮。 定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現況値及び目標値 備考 当初現況値 中間目標値 最終目標値 (H25当初) (H29末) (H27末) ① 高速道路へのアクセスが 1 0 km圏内となる地域の拡大 (面積: km2) ((評価時点のICアクセス10km圏内域面積÷H24ICアクセス10km圏内面積) -1)×100% 0.1% 0% 12% 拡大率 拡大率 拡大率 ② I Cへのアクセス時間短縮率(%)  $\{\Sigma$  [要素事業の現道での所要時間(分)]  $-\Sigma$  [要素事業供用による所用時間(分)]  $\}$ 0% 8.3% 35, 1% /Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] ×100 短縮率 短縮率 短縮率 効果促進事業費の割合 合計 全体事業費 3.363百万円 3.363百万円 В C (A+B+C)C / (A + B + C)事後評価(中間評価) ○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期 事後評価(中間評価)の実施体制 事後評価(中間評価)の実施時期 交付期間終了(予算執行完了)後 県の事業担当課により評価を実施 公表の方法 熊本県ホームページにて公表 1. 交付対象事業の進捗状況 交付対象事業 A1 道路事業 事業 地域 交付 直接 道路 省略 要素となる事業名 事業内容 事業実施期間 (年度) 備考 全体事業費 事業者 市町村名 工.種 (延長・面積等) (百万円) 間接 種別 種別 種別 対象 (事業箇所) H25 H26 H27 H28 H29 熊本県 直接 国道 益城町 道路 一般 改築 (国)443号(小池工区) 51-A1-1 新設・バイパス 117 一般 能本県 直接 改築 (一)田代御船線(上野工区) 御船町 51-A1-2 道路 都道府県道 新設・バイパス 470 (国)445号(北中島工区) 能本県 山都町 51-A1-3 道路 一般 直接 国道 改築 新設・バイパス 51-A1-4 道路 一般 能本県 直接 都道府県市 改築 (一)稲生野甲佐線(北中島工区) 山都町 401 新設・バイパス 道路 一般 宇城市 直接 市町村道 (他)学校・稲川線(小川工区) 宇城市 200 51-A1-5 改築 新設・バイパス L= 0.95 k 氷川町 51-A1-6 道路 一般 直接 市町村龍 改築 (2)吉本本山線(高塚工区) 現道拡幅 L= 1.5 km 氷川町 490 一般 (他)南野線(上野工区) 御船町 直接 市町村道 改築 御船町 230 51-A1-7 道路 ランプ L=0.97km 51-A1-8 道路 一般 山都町 直接 市町村道 改築 (他)長谷線(長谷工区) 山都町 339 バイパス L= 0.4 km 51-A1-9 道路 一般 山都町 直接 市町村道 改築 (他)水ノ田尾布勢線(水ノ田尾工区) 山都町 100 バイパス L= 0.4 km

人吉市

水俣市

水俣市

天草市

新設・バイパス L=0.25 km

新設・バイパス L=0.63 km

現道拡幅 L=0.80 km

現道拡幅(L=0.4km)

道路

道路

道路

道路

51-A1-10

51-A1-11

51-A1-12

51-A1-13

人吉市

水俣市

水俣市

能太県

一般

一般

一般

一般

直接

直接

直接

直接

市町村道

市町村龍

市町村道

都道府県記

改築

改築

改築

改築

(他) スマートインターチェンジ第1号線ほか2路線(七地町工区

(1)袋インター線(袋工区)

(2)野川・袋線(袋工区)

(一)本渡港線(港町工区)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・現道拡整備やバイパス整備等を行った結果、交通の円滑化が図られ、救急指定病院までの搬送時間短縮に寄与した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①(高速道路 へのアクセスが1 0km圏内となる地 域の拡大率)		12% 拡大率		計画期間中の交付金制度の変更に伴う整備計画の再編により、他計画へ移行した事業も含め、一部の事業について完了が図れなかったことから、目標達成できなかった。
		最終実績値	0.1% 拡大率	に差が出た要因	
	指標②(ICへのア	最終目標値	35. 1% 短縮率	目標値と実績値	計画期間中の交付金制度の変更に伴う整備計画の再編により、他計画へ移行した事業も含め、一部の事業について完了が図れなかったことから、目標達成できなかった。
	クセス時間短縮率)	最終実績値	8.3% 拡大率	に差が出た要因	

## Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

## 3. 特記事項(今後の方針等)

・整備期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し効果発現を目指す。